

事業名：体験・ボランティア活動支援センター設置事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	02 生涯学習の充実								
基本事業	02 生涯学習支援体制の推進								
開始年度	平成14年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市体験活動・ボランティア活動支援センター	
手段（事務事業の内容、やり方）	
地域づくりや地域活動における相談や支援を行うとともに、情報の収集、提供などを行う支援センターの活動費。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
地域活動の活性化を図るとともに、地域人材の発掘、活用により地域づくりを促進し、地域教育力の向上を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	コーディネーター数	人	9	8	10	10
対象指標2						
活動指標1	コーディネーター活動回数	回	55	44	52	—
活動指標2						
成果指標1	事業参加者数	人	303	144	150	—
成果指標2						
事業費(A)		千円	125	87	104	173
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,172	1,174
総事業費(A+B)		千円	1,329	1,289	1,276	1,347

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動・ボランティア活動センター会議開催 地域・学校・家庭が連携した体験活動事業の企画 当センター以外が実施する体験活動事業への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 活動センターコーディネーター謝礼等 86千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域が子どもたちを育てる環境づくりへの大きな柱として事業の実施が求められている。（委託事業としては平成16年度まで実施し、平成17年度以降は市単独事業として継続） ・まちづくりや地域づくりなど、生涯学習を推進するためには家庭及び地域教育力の向上を図ることが急務の課題となっている。 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である 妥当性が低い	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、家庭それぞれの持つ力を出し合い、子どもたちを育てる環境を作ることが求められている。このような調整役としてコーディネーターの役割は非常に重要であり、情報提供や活動支援など当センターが果たす役割は大きい。
-----------------	------	---

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に指導者や地域活動を行う人材がいる事で、子どもを育てる環境づくりに自ら関わりを持つ市民が増え、生涯学習体制の推進が図られる。
---------------------------------------	------	---

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの支援により地域間の交流事業が行われ、子どもたちの受入れを行う地域組織と、その核となる人材が育ってきている。 ・事業の規模・種類に違いはあるものの、指標の数値は増加しており、意欲的に活動している。
-----------------------------------	------	--

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターとしての活動の定着が図られ、地域の受け入れ体制も口コミ等を通じて徐々に広がりを持ち始めている。 ・新たな交流活動プログラムの開発や活動に取組む地域の拡大により、成果の向上が期待できる。 ・人材活用や学習の成果を活かすシステム構築の核となる事業であり、今後も体制の整備などを検討する必要がある。
-------------------------------------	------	---

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？

ある なし	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの活用により、必要最低限のコストで事業を行っている。
----------	------	---